

## 四日市郵趣会

四日市市制120年 市民企画イベント

ウェルカム きって

# Welcome Kitte展 2017

企画展 郵便でみる四日市 120年

〈入場無料〉



日時 平成29年9月1日(金)から3日(日)まで

9:30~16:30 最終日は15:30まで

場所 四日市市文化会館 第4展示室

(四日市市安島2丁目5-3)

主催 四日市郵趣会 後援 東海郵趣連盟

## 四日市市制施行120周年「市民企画イベント」

ウエルカム きって

### Welcome Kitte 展 2017

### 企画展：郵便でみる四日市 120年

日時：9/1(金)～9/3(日)

時間：9:30～16:30・最終日は15:30

会場：四日市文化会館・第4展示室



### 1. 展示者

四日市郵趣会（会員19名）

四日市市中部地区市民センター登録団体

例会：毎月第1土曜日13時30分から

### 2. 開催目的

『郵便で四日市の歴史を再発見する！』

### 3. 展示概要

#### (1) 展示方法



2016年はこにゆうどうくんが遊びに来てくれました。

← 展示イメージ					
A4大の用紙に切手や封筒、葉書を貼り フレーム単位(縦横4×4=16枚)で展示します 切手収集の範囲は大変広く、多様です 各会員の趣向を凝らした作品をご覧ください					

#### (2) 展示内容

##### ①企画展：「郵便でみる四日市 120年」

明治から戦後までの通史へ、先覚者、汽船便、鉄道郵便、軍事郵便等をテーマとする作品を加えた構成で、全12フレームです。

##### ☑見所

- ・四日市－横浜間の定期航路で運ばれた郵便
- ・日露講和により、四日市港から帰還したロシア軍捕虜の資料
- ・日米開戦で横浜局から返戻された在米日系人あての手紙
- ・戦地兵士と家族を結んだ手紙
- ・稲葉三右衛門(四日市港の恩人)、伊藤伝七(東洋紡初代社長)の書簡

##### ②「富田の郵便局と消印」、「とっておき四日市」

会員が永年集めてきた、とっておきの四日市です。ご期待ください。

### ③こだわり作品

キティちゃんなどのシリーズ切手や、消印を展示します。  
少しずつ継続して集めたものを、作品にしてお見せするものです。

☑「切手なんでも相談コーナー」開設 お気軽にお尋ねください。

## 4. 問合せ先

事務局:コサカ 090-4087-3025 MAIL:mrfukutaro@yahoo.co.jp

代表者:オオシマ 090-5626-1081 (平日は夜間) MAIL: oshima0719@yahoo.co.jp

ご参考 Q&A

Q: 「切手収集」について教えてください

A: 人それぞれの自由な楽しみ方ができ、長く続けることができる趣味です。  
大きく分ければ伝統郵趣(切手)、テーマチック(切手図案)、郵便史(郵便制度)です。  
切手は郵便料金の前払い証紙ですので、これに付随するものも収集対象となります。  
また過去一時期のものでなく、現在も続いているのが大きな魅力になっています。  
この趣味には作品を作って展示できるという楽しみもあります。全く同じ材料でも  
人によって並べ方が違うため、1つとして同じ作品にはなりません。

Q: 「四日市郵趣会」について教えてください

A: 北、中勢地区の切手収集家の集まりで、月1回四日市市内で例会を開いています。  
例会は切手関係の情報交換、コレクション展示や親睦を図ることを目的としています。  
会員の多くは長く切手収集を続けており、公益財団法人日本郵趣協会会員です。  
例会は出入り自由で、随時見学可能です。興味のある方はぜひ遊びに来てください。  
収集用品や切手重品の格安分譲、贈呈もしています。お楽しみいただけると思います。

Q: 「切手展」は毎年あるのですか

A: 「ウエルカム 切手展」と言う愛称で一昨年から開催しています。  
2015年は戦後70年、2016年は希少な切手をメインテーマにしました。  
今後はいろんな分野の方々とコラボした展示会も考えています。  
なお、今回の展示に使用した切手は約500枚、葉書や封筒は約300通です。

Q: 「企画展」のポイントはなんですか。

A: 汽船による郵便遞送と、それぞれの時代に生きた市井の人々の手紙です。  
四日市は東海道筋に位置し交通の要衝のため、郵便創業と同時に郵便取扱所が  
設置されました。明治政府は地方への情報伝達に郵便ネットワークを活用しました。  
郵便のスピードアップや大量輸送は汽船、鉄道の交通インフラ拡充で完成しました。  
郵便遞送における四日市港の役割は特別のものでした。毎日1便の四日市-横浜間  
定期航路が、実は郵便搭載に対する助成により可能であったことが理解いただけます。  
全国から四日市に集まった人々が汽船待ちの時間に郷里へ宛てた葉書もご覧ください。  
また郵便には人と人との心を繋ぐ役割があります。当時の郵便物に書かれた市井の  
人々の心情にご注目ください。過去の困難な時代の記述に心打たれます。

Q: 古い封筒や葉書はどのように集めましたか

A: 四日市発着のものは絶対数が少ないため、催事で入手するのは難しいです。  
多くのものは先輩収集家から受け継ぎました。なかには縁あって、海外の切手商から  
購入したものもあります。少しずつを継続して集める方法です。

# 郵便でみる四日市の歴史

四日市は東海道筋に位置し交通の要衝のため、郵便創業と同時に郵便取扱所が設置されました。明治政府は地方への情報伝達に郵便ネットワークを活用しました。郵便のスピードアップや大量輸送は汽船、鉄道の交通インフラ拡充で完成しました。

この作品は郵便事業における四日市の役割が特別なものであった事を明らかにしています。特に四日市-横浜間の定期航路は郵便搭載に対する助成により、維持、拡大され、1日1便で運航されました。汽船利用のため、全国から集まった人々で四日市は大変な賑わいとなり、その後の発展の原動力となったのです。

また郵便には人と人との心を繋ぐ役割があります。当時の市井の人々の心情にぜひ注目いただきたいと思います。特に困難な時代の記述には私たちの心を打つものがあります。

展示は明治期から戦後までの通史へ、「先覚者」、「汽船」、「鉄道」、「軍事郵便」のテーマを加えて構成しました。できるだけ郵便物の種類を集め、四日市の多様性を表現するように努めました。

## 目次

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 明治期1(交通、通信の拠点)  | 7. 大正期(1912-1926)    |
| 2. 明治期1-2(四日市近郊局)  | 8. 昭和期(戦前1926-1941)  |
| 3. 明治期2(市制施行~1912) | 9. 軍事郵便・戦地との絆        |
| 4. 四日市の先覚者たち       | 10. 昭和期(戦時1941-1945) |
| 5. 汽船・横浜~四日市線航路    | 11. 戦後・占領と復興         |
| 6. 鉄道・郵便ネットワークの完成  | 12. 郵趣品にみる四日市        |